

# 地域協議会だより

**新たな自治制度が始まります**

平成22年の合併以来、地域自治区制度が5年を経過し、平成26年度で一区切りを迎えます。岩舟地区としては1年間という短い期間でしたが、4月から新しい自治制度が運営されます。新たな制度の4つのポイントを紹介します。



### 1 「岩舟地域会議」

●市の附属機関（審議会）として市が8地域（西方、都賀、栃木東、栃木中央、栃木西、大平、岩舟、藤岡）に設置します。岩舟地区には岩舟地域会議が置かれます。地域の住民代表組織として地域の課題解決や将来について話し合います。市長へ提案をしたり、市長からの問いかけに対して意見を述べたりします。

### 2 「地域予算提案制度」

●多様な地域課題を効率的に解決するため、地域会議が一定の枠内で予算の使い道を考える制度です。

### 【制度の流れ】

① 地域会議が、地域課題解決のための事業計画を作成し、市長へ提案します。

② 市長は、事業計画を予算案に反映し、議会へ上程します。

③ 議決後、翌年度に市が事業を実施します。

※市に決定権限のない事業、大規模な施設整備、給付等の上乗せ、市が廃止を決定した事業の復活などは対象になりません。

### 3 「まちづくり実働組織」

●地域固有の課題の解決や地域の特色を生かした活動に自主的に取り組む任意の組織です。

●市長の認定を受けたまちづくり実働組織への補助制度を設けます。

一定の要件を満たすまちづくり実働組織は、市長の認定を受けることができます。認定を受ければ組織を立ち上げる経費、地域活動計画を策定する経費、地域活動計画に基づく事業を実施する経費、運営経費等の一部が補助されます。

### 4 「岩舟地域まちづくりセンター」

●地域づくりをサポートする市の組織です。岩舟総合支所の中に地域まちづくりセンターが置かれます。岩舟地域会議の事務局を担当したり、まちづくり実働組織の設立と運営を支援したりします。

### 「まちづくり実働組織」について説明会を開催しました

2月18日、20日の2日間、「まちづくり実働組織」についての説明会をそれぞれ静和地区公民館、岩舟総合支所を会場として行いました。説明会には区長、自治会長、その他関係者合わせて約100名にお集まりいただきました。

説明の中で、岩舟地区における「まちづくり実働組織」の設立に向けて、地域協議会から提案をいたしました。提案内容は「岩舟で慣れ親しんだ体育協会8支部をきっかけに話し合う」ということからはじめましょう。」ということでした。

新たな組織をつくることは息の長い作業になります。また、何から始めればいいのか困ってしまうというところが考えられることから、岩舟では顔を見知る8支部という単位が最適だということになりました。





2か所とも力強いリーダーが随所におり、まちづくりはひとづくりであることを改めて認識させられた研修となりました。

**視察先①…長野県上田市 丸子地域**

(上田市丸子地域協議会斉藤会長、丸山副会長、事務局芹澤次長、翠川係長にお話を伺いました。)

**委員所感①**

・意見交換を通じて特に感じたことは次の3点である。

- ①女性の活躍が期待できる。地域協議会の委員の構成は団体推薦、学識経験、公募によって20名の委員を選んでいるが、そのうち8名の委員が女性である。
- ②教育県といわれる長野県の中で、補助事業である「上田市わが町応援魅力アップ事業」があるが、小学校を拠点とした交流事業や国際理解共生事業など生涯学習をベースにした補助事業が目立ったこと。
- ③このほか地域づくり支援事業の取り組みでは、身近な地域のテーマを活用した太鼓団体の交流事業、ホタルの里整備事業が目についた。

11月27日、28日の2日間地域協議会の先進地である長野県上田市丸子地域、住民自治の先進地である長野県長野市松代地区の2か所を訪れました。上田市では上田市丸子地域協議会の様子や地域住民自らが企画運営する国際交流事業や景観整備事業等を視察しました。長野市松代地区では城下町を実際に見せてもらいながらお話を伺いました。「住む人も訪れる人も楽しめるまち」を目指したまちづくりについて、城下町の再整備に関する取り組みやその他の歴史資源を整理したガイドブックの作成等の詳しい説明を受けました。



動することとなっているが、行政の土俵内での協働では新しい問題に対処できないこともあり、住民側が如何に情熱をもって地域の課題や資源を掘り起こしていけるか、また、完成していくためには継続性がなければならぬ。その反面固定化してもジリ貧に陥る危険性もあり、常に新しいメンバーが入入できる仕組みをつくること望ましい。

**視察先②…長野県長野市松代地区**

(NPO法人「夢空間松代のまちと心を育てる会」香山理事長、三田事務局長にお話を伺いました)

**委員所感②**

・松代地区は「自分たちの地域は自分たちで作る」との意識を持ち、自発的な住民参加型の自治協議会を組織していることに感銘を受けました。

松代地区では月刊の「振興計画づくりニュース」を発行し、様々な意見を吸い上げて振興計画を作成している様子で、全住民の参加する方法としては非常に良いと考えます。

・丸子地域協議会は人をつくることを念頭に、英語のできる子供たちを育てようと努力し、また多文化共生事業に力を注いでいる。特に地域情報誌の発行は、身近な様子を知るために不可欠だと思う。

・副会長が今後の活動として各団体との交流を進めたいと考えていることに好感を抱きました。「私達も良くて、あなた方も良くて、取り巻く社会にも良い」という国内における協働外交の先取りに女性がリーダーシップを取ろうとしていました。今後のご活躍を期待すると同時に是非私共の実働組織づくりに取り入れたいと強く感じました。

・地域づくりで一番大切なことは住民と行政が一緒に汗を流して行



考えていく中で、住民の力をつけるやり方は肩書の方を中心とするのではなく、肩書なしの地元をどうするかを真剣に考えている人を人脈により発見することが必要であると感じた。松代地区の「信州松代まるごと博物館構想」は長野県内でも、他の市町で同様の取り組みがされているということを知ったが、なんといいってもその地域のやる気のある人たちをどう発掘し、継続的に取り組んでいくかにかかっているような感じを受けた。



・街歩きから始まった視察を通じ、町が非常に清潔であることを強く感じました。道路脇の水路（泉水路というそうですが）の水もきれいで、ごみの投げ捨てなどはなく、通りがかったお宅の方が道路、水路回りなど掃き掃除をしている様子に、さもありません、と感じました。電線地中化も進み、コンビニも自販機も見当たらなかった印象があります。



・子育て支援に関しては次世代育成に取り組んでいて、散策会等に子ども参加を促進しています。地域の子ども向けガイドブックも作成しています。また、行政でも「子育てガイドブック」を作成して役立っているそうです。様々な情報が入っている子育てガイドブックはとても利用価値があり、安心して子育てができると思います。

「子育てガイドブック」を目指している点は参考になりました。

わが岩舟町にも慈覚大師円仁等の歴史的文化的遺産があります。これらを生かした町おこしができるといいな気がします。

・行政と住民が一体となり、個人住居の公開や、史跡・歴史遺産周辺の景観を守るため塀などの改修工事の補助金交付が行われている。

・NPO法人などの協働により、松代の魅力を再発見し、観光誘客に力を注いでいる。

行政・自治協議会・NPO法人・市民が一つになって、城下町を守っていることに感銘！

・行政側、或いは各団体の代表者に頼れる部分には限界があることを実感して、市民の中からやってくる人を探し歩き、今の運営組織で地域のセールスポイントを探し歩き、初めて成果が見え出してきたとのことでした。今では活動への参加者が増え続けており、ま



た活動内容も見えるようにされ次の目標の設定、例えば、観光客六〇万人→一〇〇万人（10年後）等が立て易くなっております。

・松代住民自治協議会の一角を担う「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」の理事長の説明では、松代の現在の活性と繁栄のもとになった会の立ち上げでは、いかにやる気のある人を集められるかであり、現在の一〇〇名の有志を集めるための苦労と計画遂行の道のりは険しいものがあつたとのことであつた。城下町であるという好条件がそろつていても有為な人を見出すことの大切さ、困難さ、このことを越えることなくして事はならないとのことであつた。

## 第7回地域協議会報告

平成26年11月27日

### 議事1 〈意見聴取〉

#### 国民健康保険税の税率等について

##### 【生活環境部 保健医療課】

##### ◆概要

栃木市国民健康保険税率については、平成24年度に保険税率の均一化を図るに当たり、急激な負担増とならない税率としましたが、国保財政に不足が生じる場合は、基金等から財政支援を行うものとし、3年後には国保財政の均衡のとれた税率にすることとされました。平成26年度に国保財政の財源不足が生じる見込みであることから、税率等の見直しを行う必要があります。また、合併協定項目の調整において、税率等を平成27年度から統合することとされました。平成27年度からの国民健康保険税の税率等を見直します。

〔地域協議会の意見〕 原案通り了承する。

## 第8回地域協議会報告

平成26年12月22日

### 議事1 〈報告〉

#### 岩舟駅周辺地区整備基本構想の策定について

【岩舟総合支所 都市建設課】

##### ◆概要

魅力ある交流拠点を目指す岩舟駅周辺地区の将来像の指針となる岩舟駅周辺地区整備基本構想を策定します。策定にあたり旧岩舟町において策定された「岩舟駅周辺地区整備基本計画（案）」を栃木市の基本構想とするため、栃木市の各種計画との整合性を図ったり、関係各課から意見を求めたりする必要があることから検討会とから検討し、議を設置し、策定をすすめるものです。

策定された構想を基に、市民、地域住民関係機関等と連携協力して、駅周辺地区の目指す将来の姿の実現に向けたまちづくりを図ります。



## 第9回地域協議会報告

平成27年1月29日

### 議事1 〈報告〉

#### 組織機構の見直しについて

##### 【総務部 総務課】

組織機構については、平成22年の合併直後から毎年見直しを実施しています。さらに市民にわかりやすく、かつ効率的で行政課題に的確に対応する組織機構とするため、見直しを実施します。

組織機構の見直しにより、市民サービスの向上や効率的な行政運営等が期待できます。

岩舟地域においては、新たな自治制度を効果的に運営していくために岩舟総合支所の地域まちづくり課内に地域まちづくりセンターが設置されたり、情報サービスの充実を図るため岩舟公民館図書室が岩舟館となったりする予定です。

多くの事務処理を行っていますが、各総合支所の日直では、年々、利用者及び事務処理等が減少しています。

また、組織機構の見直しにより、本庁への事務及び職員の集約化が進み、総合支所の日直を取巻く諸環境（職員数等）が著しく変化しています。これらことから歳出抑制、職員の負担軽減等を図るため、総合支所の日直の見直しが必要です。

平成27年4月1日から本庁の日直は継続し、総合支所の日直は廃止されます。

これにより休日の届け出等は栃木市役所本庁舎でのみ受付可能となります。

## 岩舟町地域協議会だより 第3号

平成27年3月20日発行  
 発行 岩舟町地域協議会研究会  
 編集 広報部会  
 〒329-4392  
 栃木市岩舟町静 5133 番地 1  
 岩舟総合支所 地域まちづくり課  
 電話 0282-55-7751 fax 0282-55-4910  
 E-mail i-chiiki@city.tochigi.lg.jp